「学校における働き方改革　取組の重点項目と主な取組内容」（アクションシート・学校版）

記入例はこちら

学校名　山梨県立ろう学校

（※1）【主な取組内容の詳細】を確認	（※2）【取組の重点項目「独自①・独自②」】を記入	（※3）【年度ごとの取組項目】を決定	（※4）【年度ごとの達成状況】を記入
取り組みの詳細（※1） から確認	年度始めに ①取組主体ごとの独自の取組を記入する（任意） ②各重点項目の取組で、独自の取組が3つ以上ある場合は、「6. 各取組主体のその他の独自取組」の「独自①」～「独自⑩」に内容を記入し、年度末に評価する	年度始めに 「○」：本年度取り組む項目 「－」：本年度は取り組まない項目 ※取り組まない理由を【年度ごとの達成状況】の【分析】の欄に記入	年度末に 《評価の欄》 A：達成できた　B：ある程度達成できた　C：あまり達成できなかった　D：達成できなかった ※「年度ごとの取組項目」が「－」の場合は「－」を選択 《分析の欄》 評価が「C」または「D」の場合、その要因等、分析結果を記入 ※「取り組みの重点項目1」の④については、評価にかかわらず「きずなの日」の実施回数を記入

取組の重点項目 1 【勤務時間管理の徹底及び適切な勤務時間の設定】

取り組みの詳細（※1）

	年度ごとの取組項目（※3）				年度ごとの達成状況（※4）							
					令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度	
	R3	R4	R5	R6	評価	分析	評価	分析	評価	分析	評価	分析
①勤務時間管理の徹底	○	○	○		B	教職員の意識化を図った	B	超過勤務を控える職場意識が育った	B	退勤時間が早まり、職場環境がよりよくなった。		
②効果的な勤務時間の割り振り	○	○	○		B	諸業務による目的を把握し、柔軟な対応を行った	A	時間外の業務に柔軟な対応をした	A	割り振りの方法について理解を図った		
③学校閉庁日の設定	○	○	○		A	業務の負担軽減を図っている。	A	負担軽減につながっている	A	負担の軽減につながっている		
④「きずなの日」の着実な推進	○	○	○		A	実施回数 21 回	A	実施回数 46 回 毎週金曜日に設定	A	実施回数 94 回 火金曜日に設定		実施回数 回
⑤定時退校日及び退校時間の設定	○	○	○		A	定期的な設定を行った。	A	毎週金曜日に設定	A	火金曜日に設定		
⑥1年単位の変形労働時間制についての検討	－	－	－		－	制度運用の見通しが立っていないため、本年度は見送った。		本年度の検討は見送る		本年度の検討は見送る		
独自①（※2） 年休の年間取得日数を、15日とする。	○	○	○		B	達成率は八割だった	A	平均取得日数は目標に達成した。	A	平均取得日数を設定計画的な取得を促す。		
独自②（※2） 会議の終了時刻を決めて実施し、勤務時間内で会議を終了できるようにする。	○	－	－		A	会議時間の遵守が徹底できていた。		重点項目3②に含む		重点項目3②に含む		

取組の重点項目 2 【勤務時間・健康管理を意識した働き方の徹底】

取り組みの詳細（※1）

	年度ごとの取組項目				年度ごとの達成状況							
					令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度	
	R3	R4	R5	R6	評価	分析	評価	分析	評価	分析	評価	分析
①管理職のマネジメント力の向上・リーダーシップの発揮	○	○	○		B	管理職の取り組みの方針の周知を図った。	B	取り組み方針の周知徹底を図った。	B	取り組み方針の周知徹底を図った。		
②一人ひとりの教職員による働き方の見直し・意識改革	○	○	○		B	自己観察書などに目標立てをしていく。	B	自己観察書も含めて意識が高まった。	B	自己観察書も含めて意識が高まった。		
③教職員の健康サポート・教職員の健康管理の推進	○	○	○		B	職場環境の改善を目指し、衛生管理医等と連携した。	B	安全衛生委員会等を中心に意識啓発を図った	B	安全衛生委員会等を中心に意識啓発を図った		
独自①（※2） 管理職との面談時間を設定し、勤務内容や進捗状況を把握するとともに、働き方改革への新案を聞き出し活用していく。	○	－	－		A	面談に限らず、各会議を通して様々な案が提案されている。						
独自②（※2）												

取組の重点項目 3 【校務の精選・効率化・明確化】

取り組みの詳細（※1）

	年度ごとの取組項目				年度ごとの達成状況							
					令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度	
	R3	R4	R5	R6	評価	分析	評価	分析	評価	分析	評価	分析
①業務の役割分担の見直しと適正化	○	○	○		B	教職員からの意見を反映させた。	B	学校評価などから意見を汎化できる方法を検討する	B	組織再編制により係分担の精選		
②各学校の実情を踏まえた行事・会議等の見直しと、「アクションシート」の作成と検証	○	○	○		B	アクションシートを基に目的の焦点化を図った。	A	働き方改革の検証資料を作成し周知を図った	A	アクションシートにより、方向性を共有した		
③ICT等を活用した業務改善の支援	○	○	○		B	ICTの推進を積極的に図り、業務効率化を図った。	B	ICTを活用した業務の改善が進んできている	A	保護者あて通知の電子化等活用したい業務改善を行っていく		
④外部人材の確保・活用	○	○	○		B	交流や研修会など積極的に活用した。	B	コロナ禍により外部人材の活用が7割程度である	A	コロナ禍後の活動の拡大について交流やいきいき教育を中心に検討する		
⑤会計業務の管理に係る検討	○	○	○		A	会計の適正化に関する研修や取り組みを行った。	A	PCでの効率処理のためICT支援員を活用した	A	校内での意思統一をし、管理方法を確認した		
⑥若手教員のサポート	○	○	○		B	チームの中で教職員のOJTの推進を図った。	B	校内組織内でのOJTを推奨した	B	OJTを推奨した校内組織体制を整えた		
⑦事務職員と教員の連携・協働の推進	○	○	○		B	事務との連携を常に行った。	A	事務室との連携で様々な課題に対応していくことができた	A	事務室と課題の対応について課題への対応の共有を図った。		
独自①（※2） ICTを活用した文書の管理システムを整え、効率化を図る。	○	○	－		B	ICT推進員や支援員と連携し、校務効率化を図る。	B	ICT推進員や支援員と連携し、校務効率化を図った。		③に含む		
独自②（※2）												

取組の重点項目 4 【PTA・地域・関係諸団体との連携】

取り組みの詳細（※1）

	年度ごとの取組項目				年度ごとの達成状況							
					令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度	
	R3	R4	R5	R6	評価	分析	評価	分析	評価	分析	評価	分析
① PTA・保護者・地域の理解を求める取組の実施	○	○	○		B	積極的に交流の推進を行ってきた。	B	可能な限りの推進を行った	B	PTAや地域との理解を深め、連携する活動を積極的に計画していく		
独自①（※2） 授業や学校行事等で地域の人材活用を促進し、交流及び共同学習を推進する。	○	－	－		B			重点項目3④に含む				
独自②（※2） オンライン会議を開催する。	○	－	－		B							

取組の重点項目 5 【部活動運営の適正化・部活動指導の負担軽減】

取り組みの詳細（※1）

	年度ごとの取組項目				年度ごとの達成状況							
					令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度	
	R3	R4	R5	R6	評価	分析	評価	分析	評価	分析	評価	分析
①部活動ガイドラインの遵守	○	○	－		A	ガイドラインを遵守した。	A	ガイドラインを遵守した	A	ガイドラインを遵守した		
②部活動指導員等外部人材の活用	○	－	－		C	活動日の制限のため外部人材の活用は進まなかった。						
③休日の部活動の段階的な地域移行（中学校）	－	－	－		－	特別支援学校であるため						
独自①（※2） 中・高合同の指導運営体制により、顧問の教員を多くし、役割分担を行いながら負担を軽減する。	○	－	－		B							
独自②（※2） 顧問の負担平準化に努め、外部指導者も活用しながら有意義な活動をする。			○						B	本校の状況に応じた部活動の在り方を考えながら進める		

6. 各取組主体のその他の独自取組（※2）

	年度ごとの取組項目				年度ごとの達成状況							
					令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度	
	R3	R4	R5	R6	評価	分析	評価	分析	評価	分析	評価	分析
独自① 長期休業中に学校独自の学校閉庁日を設け、教職員が休暇を取得しやすいようにする。	○	－	－		A	学校閉庁日を効率的に設定した。		重点項目1③に含む		重点項目1③に含む		
独自② 毎週金曜日を会議のない日として設定し、全職員が帰宅できるようにする。	○	－	－		A	定時退庁日を定期的に設定した。		重点項目1⑤に含む		重点項目1⑤に含む		
独自③ 出退勤記録を活用し、学校全体としてワークライフバランスに対する教職員の意識を啓発する。	○	－	－		A	出退勤記録より、勤務の効率化について検討した。		重点項目1①に含む		重点項目1①に含む		
独自④ 会議資料を事前にサーバー上に載せ、見てから会議に参加するようにし、会議時間の短縮を図る。	○	－	－		A	Web会議が定着した。		重点項目3独自①に含む		重点項目3独自①に含む		
独自⑤												